

浄願寺だより

R7 夏 No.23

遠方にお住まいのご門徒さんから、定期的にお寺の近況を聞かせてほしい、とのご要望があり、このたび「浄願寺だより」としてお寺をとりまく身近な出来事を取りまとめお知らせしようと思
います。夏・冬二回の発行を予定しています。

令和六年八月十八日発行

編集責任者

浄願寺住職 関 秀法

令和の米騒動

「令和の米騒動」と言われるほど、お米の高値が続きました。そのような中、「うちには売るほどある」と口をすべらせてしまい、辞任に追い込まれた政治家も……。今年も日照りが続きましたので、さて米価がどうなるのか、気になるところです。

それでも日本はまだ恵まれているのでありましょう。海外のニュースなどを見ていると、戦争の激しい地域では、子どもたちが飢え、折り重なるように食料の配給に群がり、泣き叫びながらわれ先にとわずかなパンや水を奪い合っている様子が映し出されています。これは本当に人間が作り出した

餓鬼道の姿です。私たちの食りの心、今あるものに満足できぬ心が行きつく先は、何よりも大切な子どもたちが犠牲になる、この世の地獄のような光景です。

毎朝、私たちは仏様にご飯を供えますね。「お仏飯」と呼ぶことが多いですが、お家によつて呼び方はいろいろです。これは、私たちが日々いた

だく食べ物のほんの一部を「一切衆生のために手ばなす」という意味があります。私たちは今のところお金さ

え出せば、何でも手に入る国にいますので、その意味が分かります。局私たちは貧しい国の人たちから食べ物や資源を奪って生きているのです。そうやって

無自覚にでも他人から奪い取つて手に入れたものを、すべて自分のものにするのではなく、ほんのわずかでもいいから、他人と分かち合う心を失つてはならない。その一線を見失なえば、それはもう人ではなく餓鬼の亡者なのだよと、仏前に供えられる白いお仏飯は私たちに教えてくれています。

マザー・テレサという人がイ

ンドで活動していた時の事、

八人の飢えた子どもをもつ貧

しい女性がおり、見かねたテ

レサは、わずかばかりの米を

彼女に渡しました。すると彼

女は一家族にすら十分では

ないそのお米を半分に分け、

隣の家の家族に持つて行つた

と言います。その隣の家の住

人は親族でもなんでもなく、

異教徒の家族であつたそうですが、戻つてきた彼女は「彼らもまた貧しいですから」と笑つたそうです。

有り余る物の中にあつて、ますます我欲を深める人と、足りぬものでも分かち合おうとする人と、この話を思い出すと、本当の貧しさとはなんであろうかと思わされます。



真宗十派

私たちのお寺は「浄土真宗本願寺派」に属しています。本山は京都市にある本願寺（通称 西本願寺）です。

しかし、親鸞聖人の教えを伝える宗派は、本願寺派だけではありません。真宗大谷派（本山 東本願寺）をはじめ、大きく十派あるとされています。これを「真宗十派」と呼んでいます。

① 浄土真宗本願寺派

本山 西本願寺（京都府京都市）

② 真宗大谷派

本山 東本願寺（京都府京都市）

③ 真宗高田派

本山 専修寺（三重県津市）

④ 真宗興正派

本山 興正寺（京都府京都市）

⑤ 真宗仏光寺派

本山 仏光寺（京都府京都市）

⑥ 真宗木辺派

本山 錦織寺（滋賀県野洲市）

⑦ 真宗出雲路派

本山 毫摂寺（福井県武生市）

⑧ 真宗山元派

本山 證誠寺（福井県鯖江市）

⑨ 真宗誠照寺派

本山 誠照寺（福井県鯖江市）

⑩ 真宗三門徒派

本山 専照寺（福井県福井市）

それぞれの派の信者数は、（西）本願寺派が約七七〇万人、大谷派（東本願寺）が約七二〇万人、その他の派が数百万人、寺院数は十派合わせて二万二千と言われています。

十派とも、同じ親鸞聖人のみ教えを大切に伝え、同じお経をいただき、お念仏を拠り所とする教えです。歴史の流れの中で、十の派に分かれてはいませんが、争うことなく、聞法の喜びを現代に伝えようと協力して活動しています。

浄願寺では、この秋（九月三十日）に、真宗大谷派のご本山 東本願寺に一日念仏奉仕に行く旅行を企画をしています。普段あまり訪れることのない、他派のご本山の参拝・見学です。ご都合の合う方はぜひご参加ください。



真宗大谷派 本山 東本願寺

門徒の広場

門徒の広場はWEB版では
ご覧いただけません

編集後記

お盆の終わる8月16日、京都の五山の送り火にならい、福知山でも丹波大文字の「大」の字が姫髪山に灯されます。戦争の犠牲者の慰霊のために始められ、70年以上の歴史があり、山すその地域の方々の大変な苦勞によって、今日まで続けられて来ました。今年は、私も一度点火に参加してみようと思ひ、午後三時から山に登り、福知山を一望できる山頂で日が暮れるのを待ち、八時の合図とともに割り木を積み上げた火床に点火させていただきました。五十以上の「大」の火床に一斉に灯される炎は、それは勇壮なもので、山頂からしか見えないその光景は実に感動的でした。そして消火が済んで下山したのは午後十時。自坊に帰るなり大の字になって休みました...

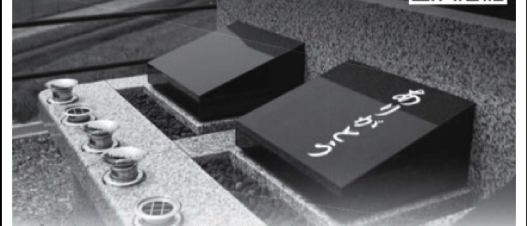
浄土真宗本願寺派 笹尾山 浄願寺

〒620-0925
福知山市上篠尾725
電話 0773-22-5280
Email: jyoganjiweb@gmail.com
http://www.jyoganji.com

住職 関 秀法

ふるさと杜墓苑 永代供養墓

furusatonomori-boen.com



「変わりゆく形 変わらない心」

笹尾山 浄願寺 福知山市上篠尾725

☎ 0773-22-5280 新区画が完成しました